



平成22年度

事業報告書

社団法人 北海道軽種馬振興公社

1 北海道競馬実施事業

(1)競馬事業の委託について

公社が道から委託を受け、北海道競馬の実施に関する業務を行った。

(2)報償費について

報償費については、前年度並みを確保し、2歳馬の出走手当の増額など出走馬確保対策を行った。

(3)開催日程について

平成22年度ホッカイドウ競馬は全日程を門別競馬場でナイター開催した。

開催期間は、4月28日から11月18日まで全15開催80日間。

発売額は112億9千万円、計画比94.4%(計画額119億5千万円)。

また、非開催日においては、南関東やばんえい競馬を中心に場外発売を全278日間行った。

(4)発売拡大の取り組み

厳しい経済不況の中で更なる発売拡大及び収支改善を推進するため、民間活力を活用した場外発売所の整備等を行った。

ア 民間活力を活かした新規場外の開設

釧路場外発売所を開設した(22年4月6日開設)。

イ 他主催者との連携強化による相互発売

南関東(大井・川崎)とホッカイドウ競馬の相互発売拡大を図る目的からナイター3レース相互発売(スクランブルナイト)を引き続き行った。(大井競馬、川崎競馬全9日間)

また、(社)ジャパンプリーダーズカップ協会のご支援により南関東競馬専門紙へ馬柱掲載を拡大し、スクランブルナイト以外でも3レース相互発売を14日間行った。

ウ 電話・インターネット投票の発売拡大

近年、好調に推移しているインターネット投票の更なる発売拡大を図るため、スポーツ紙8紙に馬柱を掲載し情報提供の拡充などを積極的に行った。

また、9月以降に実施された10重賞競走について、週刊競馬ブックへ馬柱を掲載した。さらに、(株)ケイバブックのご厚意により、競馬ブックネットから対象競走を無料で利用できるキャンペーンを行った。

エ 東海地域への情報提供

新たに東海地域での発売拡大を図るため、スポーツ紙(2紙)へ馬柱を掲載し

情報提供の拡充を図った。

(5)競馬番組について

競馬番組は、競馬事業における根幹部分であり、常にファンに魅力ある競走を提供していくことが重要。ホッカイドウ競馬は他の地方競馬とは異なり2歳戦が競走の約4割を占め、その翌年には全国の競馬場へ多くの活躍馬を輩出することから、全国の競馬ファンからも注目されている。

そうした特色を活かし、よりファンが注目する魅力ある番組づくりに努めた。また、重賞競走の一部について行った距離及び賞金の見直しを行った。

ア JRA 認定競走

JRA 協力金のもと、全国最多の171競走を行った。

- ・フレッシュチャレンジ 56競走
- ・ルーキーチャレンジ 21競走
- ・アタックチャレンジ 94競走

イ (社)JBC 協会協賛スタリオン競走

ホッカイドウ競馬の特色ある競走として定着し、全国からも注目されているスタリオンシリーズ競走を、社団法人ジャパンブリーダーズカップ協会のご支援のもと全68競走を行った。

- ・重賞競走 (DG 含む) 23競走
- ・2歳オープン 15競走
- ・3歳・3歳以上 28競走
- ・プレミアムシリーズ 2競走

ウ (社)日本軽種馬協会による副賞贈呈事業

牝馬の所有意欲の高揚と牝馬限定競走の維持拡大による軽種馬生産経営の安定化に資する観点から(社)日本軽種馬協会が実施する「牝馬限定競走勝馬馬主への副賞贈呈事業」について全29競走を対象に行った。

エ ダービーWeek への参加

ジャパントダービーに向けた地方競馬の3歳重賞体系整備を目的とし、全国6か所で実施するダービーWeekシリーズに参加。

- 実施日 平成22年6月1日
- 競走名 社台スタリオンステーション協賛
北海優駿(ダービー) (H1) [ディープスカイ賞]
(1着賞金500万円)

オ 岩手競馬との交流競走の行った

岩手競馬と人馬の相互交流を推進するため、岩手競馬との2歳交流競走を昨

年に引き続き行ったし、平成22年度はホッカイドウ競馬にて施行。

実施日 平成22年9月30日
競走名 「岩手山特別」(1着賞金150万円)

カ 全国牝馬重賞シリーズ(GRANDAME-JAPAN)への参加

全国の地方競馬主催者が牝馬重賞競走をシリーズ化して実施する「全国牝馬重賞シリーズ(グランダム・ジャパン)」に参加。

○3歳以上

実施日 平成22年9月21日
競走名 (社)JBC協会(社台スタリオンステーション)協賛
ノースクイーンカップ(H2)[ゴールドアリュール賞]
(1着賞金300万円)

○2歳

実施日 平成22年10月21日
競走名 (社)JBC協会((株)サラブレッド・ブリーダーズクラブ)
協賛
エーデルワイス賞(JpnⅢ)[キングカメハメハ賞]
(1着賞金2,000万円)

キ スーパージョッキーズトライアル(SJT)2010の行った

JRAが実施するワールドスーパージョッキー競走への地方競馬参加騎手を選考するSJT競走の第2ステージを行った(参加騎手14名)。

実施日 平成22年10月14日
競走名 第3戦シルバーサドル賞 1200m
第4戦シルバーブーツ賞 1800m
総合優勝 杉村一樹騎手 荒尾競馬所属

ク 地方競馬の2歳馬によるシリーズ競走(未来優駿)への参加

兵庫ジュニアグランプリ及び全日本2歳優駿に向けた2歳重賞体系整備を目的に設定され、全国7か所で実施する「未来優駿」に参加。

実施日 平成22年11月2日
競走名 未来優駿2010サッポロクラシックカップ
(1着賞金300万円)

(6)ファンサービスについて

とねっこ広場にジギスカン等が楽しめるグリルハウスや、新スタンド横にポラリスデッキを設置し快適に観戦できる環境を整備。

また、インターネット及びスポーツ新聞を利用した情報提供など、来場者をはじめ、場外ファンや道外ファンへの情報提供の充実を図り、ホッカイドウ競馬のファン拡大と発売拡大に努めた。

ア イベント広場の活用

プチハウスを利用したグループでの来場促進や地元洋菓子店によるログハウスでのオリジナルグッズ、オリジナルスイーツ販売を行った。

春・夏・秋のケイバ祭りにおける「ひだか特産市」や「ビヤガーデン」などを開設した。

イ 遊具の設置

とねっこ広場に(社)北海道馬主会より寄付を受けて遊具を設置し、ファミリー層の来場促進に努めた。

ウ 道内場外でのファンイベント

集客対策の一つとして、道内場外スタンプラリーを行ったし、来場回数に応じてJA特産品などをプレゼントした。

また、道内に点在する場外発売所をファンに周知するため、全道 Aiba まつり（7月13日開催）を実施するとともに、JRA 函館・札幌競馬場や道内ウインズとのコラボレーション企画を行った。

エ オフィシャルホームページのリニューアル

競馬ブロードバンドの多様化・高速化に伴い、ホッカイドウ競馬オフィシャルホームページの改修を行い、利便性の向上を図るとともに、出走表や携帯サイトの充実を図り参加意欲の向上に努めた。

(7)有名企業とのタイアップ

ホッカイドウ競馬を道民の方々により親しんで頂き馬文化の素晴らしさを伝えるため、各種イベントや協賛競走を通じ道内有名企業とのタイアップを積極的に推進。

○サッポロビールとの連携

オリジナル記念缶を作成し、道内コンビニで販売。グランシャリオナイターのPRを展開。

○楽天競馬(競馬モール)と北農中央会・産地JAとの連携

楽天競馬の馬券購入と日高管内特産品の抽選をコラボレーションし、産直キャンペーンを行った。

(8)門別競馬場を活用した日高地域の活性化

日高振興局が推進する「馬ひだかウェルカム推進事業」や日高町が推進する観光振興事業などに協力し、日高の玄関口に位置する門別競馬場を活用した日高管内の観光振興に寄与する取り組みに努めた。

(9)その他

門別競馬場でデビューした馬「チャンス号」がJRAへ移籍し、G1レースで勝利す

るまでを描いた NHK ドラマ「チャンス」の門別競馬場ロケが実施され、門別競馬場及び日高管内の PR に寄与した。

○門別競馬場での収録 平成 22 年 5 月 17 日・18 日

○ドラマ放映

平成 22 年 8 月 28 日（土）～毎週土曜全 6 回放映